

さまざまな分野で“がんばる”長崎市民をご紹介します!!

ながさきメーカー

長崎 maker

今月のmaker

長崎はいからさん
代表 阿野 恵美子さん

「着物をもっと身近に」をコンセプトに、多くの人
が気軽に着物を楽しめるカンタン着物を考案。着
物でさるく、新たな長崎観光をプロデュース♪



連日多くの観光客で賑わう出島で、和装を通して長崎
ならではのおもてなしを広めている「長崎はいからさん」は、
子どもから大人まで性別問わずいろいろなかたに、着物姿
でまち歩きを楽しむ機会を提供しています。

帯や襟などに改良を加え、5分で着れるカンタン着物を
阿野さんが考案したのは10数年前。「気軽に着付けがで
きれば、多くの人にその良さを伝えられると思った」と当時を
振り返ります。それから、「着物姿で観光してもらうことで思
い出に残る旅を提供できる」というおもてなしの心や、「大
好きな長崎から着物文化を発信していきたい」との思いから
「長崎はいからさん」の取り組みを始め、今年で4年目を迎
えます。

取材したこの日も、店内には多くの観光客が。みなさん、
すぐに着付けを済ませ、美しい着物姿でぞくぞくと観光へ
と出かけていきます。修学旅行生の利用も多く、初めて着
物に袖を通すと、自然と笑みがこぼれる子も。そんな笑顔
に出会えることも楽しみの一つと阿野さんはいいます。

さらに、クルーズ船入港などで外国人
の利用者も増えており、4月以降も海外
の団体ツアーで予約がいっぱいのこ
と。「最近、言葉のおもてなしとして中国
語を勉強中です。海外のお客様にも、
もっと着物の良さを伝えていけたらと
思っています。」と語ってくれました。

今後も阿野さんの活躍からますます
目が離せませんね♪



働き盛りの長崎人をクローズアップ!!

はたらく 輝く働き人



システムファイブ株式会社
山下 善嗣 さん

風車・橋・火力プラントなど
を動かすためのシステムや、
離れた場所から各種機器・装
置を監視するシステムを作っ
ている会社です。

技術は国内トップクラスで、
業界でも高い信頼を得ています。

Q1. もともとシステム分野に興味があったのですか?

もともと興味があった
のは電気・電子です。大
学院でも専攻しました。

大学院を卒業後は別の
会社に就職し、その後今
の会社に転職しました。

入社当時は分からない
ことばかりで不安でした
が、周りの人に支えられ
て、ここまで来れました。



お客様の要望を聞いてシステムを作るの
で、同じ質問をしないよう工夫しています

Q2. どんな仕事をしていますか?

主に火力発電所に関わる仕事をしています。例えば、
火力発電所で運転員として働き始めたばかりのかたが、現
場に出ても運転はできませんよね。訓練が必要です。

そこで運転員のかたがパソコンをクリックしながら仕事
を学ぶことができる訓練用の
ソフトウェアを作っています。

また、実際に稼働している
火力発電所で問題が発生し
た場合には、プラントを模擬
するソフトウェアを使ってシ
ミュレーションを行い、原因
を探る仕事もしています。



悩んだときは先輩方に相談

Q3. 「難しい課題でも、嫌な顔をせずがんばる人」
だと上司のかたがおっしゃっていましたね。

入社6年目で、まだまだこれからだと思っています。

これまで以上に、人への負担が少なく、より効率的なプラ
ント運転ができるシステ
ムを作りたいですね。

また、難しいことが
あっても、“やる以上は
楽しく”を心がけ、さら
に技術を磨いていきたく
いです。



毎月、お茶をしながら交流を深めています